

Bangladeshにおける栄養士の関連資格制度

栄養士の学位を取得するには、まず、**高校で科学を選考すること**が必要である。その後、大学の食品栄養学コースに入ることが一般的である。**栄養士は、大学での認定学位のみで、国家資格化はされていない。女性栄養士が卒後働く場所は、病院がほとんどであり、男性はNGO 団体や大企業のNGO 部門で働くケースが多い。**

病院での栄養士の仕事内容

医師からの指導を受け、栄養士が患者ごとにメニューを作成する。固形、半固形等の指示も全て基本的には医師の指示に従う。経腸栄養剤は外部から購入することが一般的である。慢性腎不全用経腸栄養、重症疾患に使える高アミノ酸の消化態経腸栄養剤の調達も可能である。

栄養士は病院のフードアンドビバレッジ (F&B) 部門に所属し、調理部門へ指示を出す。調理後は栄養士が試食を行い、温度、成分レベル、品質の確認を行う。また、調理部門が指示通りに調理を行っているか、厨房の衛生管理を適切に行っているかの管理も栄養士が担当する。

入院時に全ての患者に栄養士が直接「療養食」という概念の説明を実施する。患者から味や量に対するクレームが出た時は、看護師を介して又は直接説明を行う。日本で実施されているようなNST 回診の概念はない。

Bangladeshの食事の傾向として、カロリーが高く、塩分、糖分が多い傾向にあるが、スパイス、油、塩の量を減らすことで栄養バランスを整えるように調整している。退院後の食事指導も実施しており、必要に応じてダイエットレシピの提供も行っている。